

老 少 少 少  
而 而 而 而  
学 学 学 学

則 則 則  
死 老 壮  
而 而 而  
朽 不 有  
衰 為 為

こんにちは。チャットGPTに頼らず我流を貫くニュースレター係です。7月初旬、みなさまでは夏の風情を味わい出す頃合いでしょうか。夏至前後、梅雨時期の夕刻が実は好きです。陽の長い夏至前後の田んぼには水が張られ、小さな稲も立っている。真夏前のひんやりとした空気の中、平野を見渡す場所での夕映えは、幽玄な空模様が田んぼに映り込み、いつもの田んぼ景なのだけれど、心のシャッターを連打してしまいたくなるほど、美しい（時がある）のです。帰り道や週末の夕刻、目を向ける心の余裕を持ちたいものです。きっとわが社の各現場で、夕映えの『推しアングル』があることでしょうね。梅雨が苦手だと思っていたのですが、視点を変えますと潤いと涼の時季ともいえます。四季折々、この時季ならではのものを楽しんでいきましょう。

メディア広報企画課

～工事の現場から～ file#25

主任技術者 井手口 裕 さん（1級土木施工管理技士）



今回の舞台は、スマートインターチェンジの現場。物流拠点から高速道路への所要時間の短縮により物流の効率化が進むとともに、一般道の混雑緩和を期待されている注目の事業。注目工事の現場へ取材に行ってきました！

取材当日はあいにくの夕立ち。担当者の井手口氏の携帯電話は引切り無しに鳴り、あちこちとの調整、調整。案内された現場は圧巻。全長約1km、幅約300mの工事範囲はスケールが大きすぎる！毎日何十人も職人さん方が作業する現場は、それは管理が大変だろうと、我々が見るだけでも想像に難くない。さらに、新設されるアクセス道路を介して国道や県道と接続される計画のため、多数の他業者が同範囲内にて工事をされており、そちらとの調整も必須になっています。今回の工事では、様々な工事が並行して進められます。構造物を支えるために杭を打ち、地を高めるために盛土や埋戻しをし、盛土を支えるために土留めブロックを積み、既存の水路が今後も問題なく利用できるようつくり直し、高速道路の上を通るための高架橋（別工事）を支える下部工の施工をし、高速道路の下を通るためのカルバートを増幅し、みなさんが利用する、あのスマートインターをつくっていく。そして、高速道路を走る車の妨げにならぬように随時対応していく。ここに挙げた内容だけでも、この大規模な施工範囲の中では気が遠くなるようです。「工事の中でも多くを占めるのが盛土」と言われるほど莫大な量の土を運び込みつくられた大きな丘。それはそうですね？何もない所に高速道路が上がっていくための道路が出来る訳ですから。高速道路を走る車を見下ろすなんて、なかなか無い光景。開通してしまえば立つことの出来ない場所からの風景を目に焼き付ける。ものづくりの醍醐味である地図に残る仕事。子どもたちに「あれはお父さんたちがつくったんだよ」と誇りたい工事の一つです。

工事について尋ねると、高速道路という特殊な環境での工事なので職人さん方だけでなく各機関との連携や報告なども大切な業務。他にはやはり梅雨の時期ということもあり、ゲリラ豪雨やそれに伴う浸水で工事の進捗に支障が出たり、排水対策が懸念されるとのことでした。



私自身も頻りに利用する、無くてはならない存在の高速道路。身近な存在でありながら、どうやってつくられているのかについては向き合ってきませんでした。今回の取材を通して帰りに乗った高速道路では、今まで高速道路をつくり上げそして維持してこられた方々に感謝をしながら、歴史に思いを馳せたのでした。

みなさんが待ち望むスマートインターチェンジ！出来上がった暁には利用してみたいものです。工事竣工のその日まで、しっかりご安全に！

OH-YABU 人 おーやぶじん file.28

今回は現場で元気に走り回る、土木部所属の女性社員をご紹介します。

- 愛称 まきちゃん・まっこちゃん
- 生年月日 昭和59年9月16日
- 入社年月 平成18年12月
- 出身 筑後市
- 座右の銘 一期一会
- 尊敬する人 両親
- 特技 人の顔と名前を覚えること
- 趣味 野球観戦・映画鑑賞
- 休日とは？ 家族とのお出かけ

ながせ まきこ

長瀬 真規子 さん



- 最近ハマっていることは？  
めだかを育てること。  
子ども達と一緒に楽しくお世話しています。
- 自己PRをどうぞ！  
おいしいものを食べるのが大好きです。  
家族の力を借りて仕事と育児の両立に奮闘しています。

入社17年目。結婚や二度の出産を経て、元気に働き続けるママさん社員。地元である筑後市をこよなく愛し、色んなことを知る情報通。これからも子ども達に尊敬されるママであってほしいね！



ステキな笑顔で はい。チーズ！

さて、次のOH-YABU人。誰に声をかけようかな？

いってみよ！ 星野民藝様本社展示場

今年の春、星野村に素敵な展示場が完成しました。星野民藝様の本社展示場です。見てください、この自然のままのロケーション。奥には山々がそびえ、南側には清流星野川が流れ、静寂とともに鳥の声や川のせせらぎなど、動的音響が私たちを迎えてくれるこの場所です。最初にこの場所に展示場を建てたいと伺ったとき、この環境と相乗する至極のゆらぎ空間を脳内イメージし、身震いしました。星野民藝様と設計監理の中野氏、わが社の総力を結集し出来上がったこちらの空間。星野民藝様の家具・建具との調和がすばらしい設えとなっています。展示場内には、竹内社長が撮られた「ヤマセミ」の貴重なお写真、自ら作陶された器類も展示されていて、住空間実例としてお楽しみいただけます。また、御親戚うちの、木綿糸の織物「鍋島緞通（久留米市）」さんの織機があり、実際の織作業もご覧いただける職人技の展示場。夏が観光シーズンの星野村です。山と川の涼感に導かれ、こちらにもぜひお出かけください。

星野民藝様本社展示場  
●所在地…福岡県八女市星野村 11662-1 ●水曜定休  
●TEL0943-52-2720 ●営業時間…10:00～17:00



【余談ですが】野球が大好きな竹内社長と竹内専務。竣工の際に、親善ソフトボール試合をやろう！と企画が持ち上がり、実現いたしました。（blogにも書いています）わが社は残念ながら惨敗…！とはいえ、仕事以外の親睦時間も楽しいものでした。リベンジを誓ってまたの機会を！

モデルハウス2棟予定 in HINATOWN 室岡

動きが活発になってきます！土地の契約が進み新たなお家が建ち始めたり、11月にはモデルハウスも2棟完成予定。規格住宅『ジブンハウス』のお家が見学できるようになります！やっぱり家って実際見るのが一番わかりやすい。安心して契約いただくためにもモデルハウスってあるといいな、と個人的には。それでも、自分が建てたいタイプでないからイメージが湧かない、という方必見。ジブンハウスではたくさんのシリーズがVRやARで体感できるようになっています。VR(仮想現実)では、建物の外観や内観がしっかりつくり込まれているので、自分がそこに立っているようなイメージで見ることが出来る。ジブンハウスのホームページからいつでも、簡単に内覧できるという強みがあります。変わってAR(拡張現実)は、建築希望地に専用のスマホやタブレットを持って行けば、実際の敷地にどのくらいのボリュームの家が建つのかや、窓からどんな風景が見えるようになるのかなどを試すことができる優れもの。実際に体験してみたいな！興味あるな！という方は、ぜひお気軽にお問い合わせくださいませ。



ジブンハウス



VRではリアルな内観を楽しんだりインテリアの参考にもなります！



「少にして学べば則ち壮にして為すことあり…統」  
※紙面左上、白くまの下をご覧ください※  
私は、日々の中で新しく出会う言葉を大事にしています。表題の名言は江戸後期の儒学者佐藤一斎による、少年→壮年→老年と、年を経ながら学び続けることの意義を説いた言葉の冒頭句です。なにも、勉学に勤しむということではなく、好きなことを深めるとも学びのひとつです。宴会続きの日も、朝になったら思い出すよう、日々心に届いた名言は手帳にメモしています。

おおやぶ2年生の声

新入社員の頃から少し時間が経って成長した若者たちの声です。

建築部 本川涼太さん（2022年4月入社）

建設業は覚えることが多く大変ですが、日々現場が変化しているのを近くで見るとやりがいを感じます。来年は施工管理の資格が受験できるので、一回で合格できるように頑張りたいです。



建築部 佐藤歩さん（2022年4月入社）

某工場の排水処理場の新築工事を担当しています。以前は保育園でその後工場。まるで違う現場で慣れずにいますが、目の前のごとを一生懸命頑張ります！



建築部 持丸菜未さん（2022年4月入社）

大変なことも多いですが、日々多くの学びがあり、今まで気付かなかった点を発見し、とても充実した毎日を送っています。

建築部2年生3名の声でした。3人は学生時代は同じ学び舎でした。励ましあって磨きあって助け合っていきましょう。さて次回は土木部2年生の声をお届けします！

雑談泡 編集後記

Zatsudan Hour

こうしてニュースレターに携わり、11年目。振り返れど成長の足跡見えず。文章というものの奥深さに毎回、翻弄されている。上司より勧められた文章の書き方を学ぶ本。読めば読むほど迷走、まっしぐら。そんな行き詰まる執筆途中の原稿を見た他部署の先輩より「こんな文章も書けるよね！知らんやった。」との言葉。聞けば、褒め言葉らしい。多少は「成長、の背中が見えてきたか!?その背中を追って、腐らず、次号に向けての密かな決意をここに記す。

〒833-0005 筑後市長浜 2043番地の1 ☎0942-53-2151

YouTubeもご覧ください！

